

第91号

平成29年1月1日



南知多のふくし



編集・発行 / 社会福祉法人 南知多町社会福祉協議会 南知多町大字豊浜字須佐ヶ丘1番地 ☎0569-65-2687



●●● サロンでの憩いのひととき... ●●●



日南地区で今年度より開催された「サロンみさき」さんは、“島の高齢者が楽しく集える場所に”と代表者が自宅を開放し開催されています。現在、町内のサロンは、18ヶ所。地域の特色を活かし工夫をこらして、様々な内容のサロンが行われています。

みなさんもお近くのサロンに参加、またはスタッフとしてお手伝いしてみませんか。新しいサロンの立ち上げも大歓迎です。

詳しくは、社会福祉協議会までお問合せください。

目次

P1 サロン開催中

P3 赤い羽根共同募金入賞作品・募金中間報告

P5 ヘルパー、ケアマネだより

P2 新年のごあいさつ

P4 福祉実践教室の様子

P6 精神保健福祉ボランティア講座のご案内
あいちシルバーカレッジ東海募集案内



新春を迎えて

南知多町社会福祉協議会
会長 内藤 宗充



あけましておめでとうございます。皆様方におかれましては、健やかに新年をお迎えになられたことと、お慶び申し上げます。又旧年中は、社会福祉協議会に深いご理解と、数多くのご支援、ご協力を賜り厚くお礼申し上げます。

昨年は、当時の様子を知らない方が多くなってきましたが、当地域として気圧942hPaの超大型台風が潮岬に午後6時15分に上陸し、伊勢湾西部を通過して北東方向へ抜けました。折悪しく満潮とも重なり、東海地方にとっては最悪の条件となり未曾有の大被害となった伊勢湾台風(昭和34.9.26)から57年目となる年でした。どの地域であれ災害の無い、平穏な1年で有って欲しいという願いもかなわず、各地で地震・豪雨・洪水・突風などによる災害が多く発生しました。特に熊本で4月14日、16日に同じ場所で震度7を2回観測する地震が発生し4万7,000戸以上の家屋損壊、370ヵ所以上の土砂崩れ・道路のひび割れや陥没と甚大な被害となりました。今私達の生きる時代、予想もなかった災害が極端な現象として頻繁に発生するようになり、平穏な生活から突然の危機に陥る事になりかねません。「災害は忘れたころにやってくる」先人の教訓を心に刻み、日頃の準備を怠らない様にしたいものです。

明るいニュースでは、8月、9月にリオデジャネイロでオリンピック・パラリンピックが開催され、日本の多くのアスリート達が活躍する場面が多く見受けられました。又細胞が自分のタンパク質を分解してリサイクルする「オートファジー(自食作用)」と呼ばれる仕組みを解明した大隅良典・東京工業大学名誉教授が12月に「ノーベル生理学・医学賞」を受賞され、日本人のノーベル賞受賞は3年連続で25人目となるなど、夢のある話題も有りました。2015年10月1日の国勢調査の結果として、日本の総人口は2010年との比較で初めて-0.8%(96万2,607名)の減少となり、総人口127,094,745名となったという報道が有りました。いよいよ日本の総人口が減少方向へ転換し始めた事になります。

近年、急速な少子高齢化、人口減少社会にあって、誰もが社会の一員として自分らしく活躍できる機会が得られるよう、子育て支援や介護の拡充などを柱として社会保障基盤の強化と新たな経済社会システムの構築に向けた施策が進められています。

一方、既に超高齢化社会を迎えた身近な地域社会においても、社会的孤立や生活困窮、虐待などの福祉問題など課題解決に向けた取組が重要となってきました。高齢者が住み慣れた地域で安心して介護や医療、生活支援サポート、サービス等が受けられ、老いも若きも元気に活躍でき、暮らし良い町をつくる為には、「地域全体で考え、力を合わせて支え合う仕組み」とする地域福祉の考え方で「地域包括ケアシステム体制整備」への取組がますます重要となって来ました。どうかこれからの「より良い福祉の町づくり」のために皆様方の更なるご理解と、積極的なご参加をお願い申し上げます。

社会福祉協議会としても従来の福祉サービス提供にとどまらず、介護を取りまく生活環境を考え少しでも地域住民の豊かな生活に貢献して行きたいと思っています。

新たなこの一年、皆様方のご健勝とご多幸を心よりお祈り申し上げます。

平成29年 元旦

赤い羽根協賛児童生徒作品コンクール

入選作品

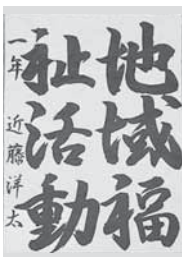


平成28年度も町内全小中学校よりポスター141点・書道328点とたくさんのご応募をいただきありがとうございました。厳正な審査の結果、県の入選6作品のうち2作品が銀賞をいただき、10作品が町の入選となりました。おめでとうございます。ここに掲載させていただき、榮譽を称えます。なお、各地サービスセンターにて、地元入選作品を展示いただいております。(敬称略)

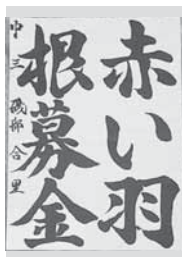
県入選作品

銀賞

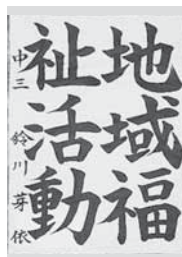
銀賞



豊浜中学校 1年
近藤 洋太



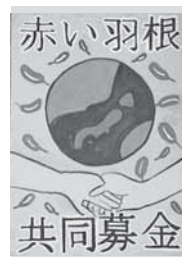
師崎中学校 3年
磯部 合里



日間賀中学校 3年
鈴木 芽依



豊浜小学校 6年
福田 優

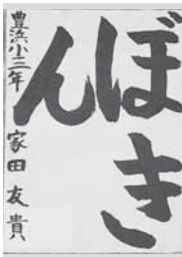


豊浜小学校 6年
堀江 日菜



篠島中学校 3年
岡田 彩実

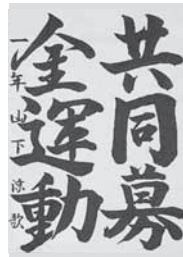
町入選作品



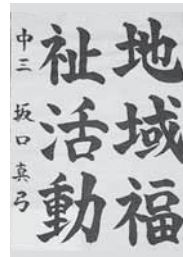
豊浜小学校 3年
家田 友貴



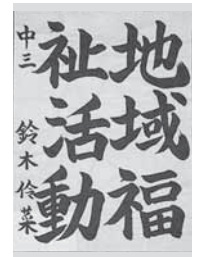
大井小学校 4年
山下 練



豊浜中学校 1年
山下 涼歌



日間賀中学校 3年
坂口 真弓



篠島中学校 3年
鈴木 伶菜



内海小学校 1年
磯部 亜実



内海小学校 2年
林 りあら



内海小学校 4年
大岩 あい



日間賀小学校 4年
鈴木 はゆ



内海中学校 2年
遠藤 圭悟

赤い羽根共同募金中間報告!

12月15日現在募金額 **3,097,503円**

ご協力くださった多くの皆様に厚くお礼申し上げます。

南知多町共同募金委員会



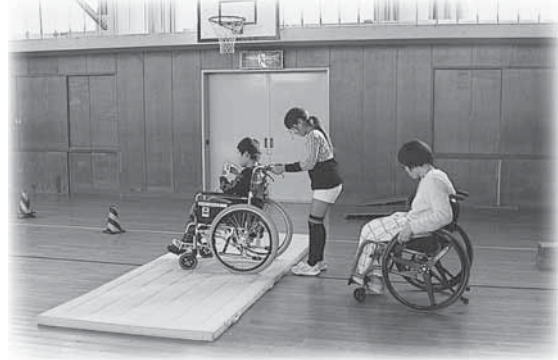
福祉実践教室実施中



今年度も学校の先生方、講師の皆様のご協力により、町内の全小中学校で福祉実践教室を実施しています。児童・生徒が「**ふ**だんの**く**らしの**し**あわせ」とは何かと考え、福祉や障がいに対する理解が深まるきっかけとなっています。



視覚障がいを理解する点字体験
点字で文章を書き、講師に読んでもらいました。



肢体不自由を理解する車いす体験



視覚障がいを理解するガイドヘルプ体験



聴覚障がいを理解する手話体験
さまざまなコミュニケーション方法を学び、実践しました。



発達障がいを理解する自閉症疑似体験



講師と一緒に給食



障がいがあってもなくても一人ひとり「違うこと」「同じこと」があります。「違うこと」を大切にしながら、お互いを認めあうことで皆が暮らしやすくなります。

障がいがある講師と一緒に時間を過ごしたことで自然と「同じこと」に気づいたかも…。



社協ヘルパーステーションだより

《今、地震が起こったら…。》

- ★必要な連絡先がすぐにわかるようにしておきましょう。
- ★災害時に協力してくれる人を見つけておきましょう。
- ★避難場所を確認しておきましょう。
- ★家具の固定、高い所に物を上げない等対策を行いましょう。
- ★揺れがあった時に隠れる場所を確保、又は頭を保護するものを準備しておきましょう。

無いと困るものって何かな？



地震、水害などの災害が起きた時、落ち着いて対応する為には**備え**が大切です。緊急時、どうしたらよいのか、**ご家族で話し合**いましょう。



ケアマネだより

ご利用者のサービス利用の様子をご紹介します。

<男性 80 歳 Bさん 要介護 2 >

入院中は脳梗塞等で歩くことができませんでした。退院後、老人保健施設に入所しリハビリを頑張り、車椅子移動、次には歩行器移動ができるようになりました。退所後、自宅では横になることが多くなるので少しでも動けるように同じ施設にある通所リハビリの利用を続けています。今後の目標は、一人で散歩や買い物等ができるように頑張っています。



<女性 84 歳 Tさん 要介護 1 >

物忘れが増え、気力が落ち外に出ることが減ってきました。同居の家族は仕事に出るため、日中一人で居ると食事をするのを忘れるため痩せてきました。

1年前よりデイサービスを利用するようになり、いろいろな人と話をしたり一緒に食事をしたりすることで楽しみができ、今では体重も増え生き生きした表情が見られるようになりました。



精神保健福祉ボランティア講座

～地域で生きることについて考える～

南知多町社会福祉協議会では、精神障がいに関心がある方を対象にボランティア講座を開催します。この講座は、こころの病や精神障がいがあっても地域の中で生きていくことについて一緒に考え、こころの病がある方への関わりなどについての理解を深めるとともに、病気や障がいに関係なく誰もが安心して地域で暮らしていけるための契機づくりとなることを目指し開催します。どなたでも参加いただけます。お気軽にお申し込みください。

内
容

第1部 講話

「『精神保健福祉』のボランティアとして関わってきて」

～精神保健福祉ボランティアあんだんて代表 やまもと ゆきえ 山本 侑江 氏～

第2部 当事者さんとの グループワーク

～大切にしたい『想い』(テーマ案)～

「ボランティア」としてではなく、「となり人」として、当事者さん、ご家族と接してこられ、あったかい居場所を10年間支えてこられた、とてもあったかいお人柄の方です。

日
時

平成29年2月14日(火)

午後1時30分～4時00分

会
場

半田保健所美浜保健分室
2階大会議室

美浜町大字河和字上前田403

■ 受講料：無 料

■ 定 員：30名程度

■ 対 象：精神保健福祉ボランティアに関心のある、美浜町・南知多町に在住在勤在学の方

■ お申し込み：2月3日(金)までに電話・FAX・メールで下記までお申込みください。

■ 主催 社会福祉法人 南知多町社会福祉協議会 社会福祉法人 美浜町社会福祉協議会 ■ 協力 NPO法人かもめ福祉会

社会福祉法人 南知多町社会福祉協議会

TEL 65-2687 FAX 65-2913

E-mail : info@minamichita-shakyo.com

平成29年度 あいちシルバーカレッジ東海 募集案内

高齢者の生きがいと健康づくりを応援するため、「あいちシルバーカレッジ」を開講します。応募をお待ちしております！

- ◆ 日 時 平成29年4月～30年3月(全30日間)
午前10時～午後4時
- ◆ 会 場 東海市保健福祉センター(しあわせ村)(東海市荒尾町西廻間2-1)
- ◆ 対 象 県内在住の満六十歳以上(昭和32年4月1日以前生まれ)の方 ※過去に在籍した方を除きます。
- ◆ 定 員 生きがい健康学科 70人(抽選)
- ◆ 料 金 年額2万3千円(予定)
- ◆ お申し込み 1月10日(火)～2月10日(金)(当日消印有効)までに専用往復ハガキを郵送
- ◆ そ の 他 専用往復ハガキは、募集パンフレットとともに南知多町役場保健介護課、および南知多町社会福祉協議会で配布。
- ◆ 問い合わせ 愛知県社会福祉協議会福祉生きがいセンター
電話 (052) 212-5521 ホームページ <http://aichoju.ec-net.jp/>

